

2023年3月期 第1四半期 決算説明会

2022年8月10日
富士フイルム ホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2023年3月期 第1四半期

1 | 決算ハイライト及びトピックス

富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO **後藤禎一**

2 | 連結業績及び事業概況

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

2023年3月期

3 | 通期連結業績予想

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

2023年3月期 第1四半期

決算ハイライト及びトピックス

2023年3月期 第1四半期 決算ハイライト

FUJIFILM

2023年3月期 第1四半期 連結業績

売上高
6,259 億円
対前年 (+7.4%)

営業利益
496 億円
(-12.0%)

当社株主帰属
四半期純利益
414 億円
(-27.8%)

- ▶ 売上高は、メディカルシステム、電子材料の販売好調や為替影響により、全セグメント増収。
- ▶ 営業利益は、前年のコロナ関連需要の減少や、部材・エネルギーコストの高騰、中国ロックダウン影響等により減益。
- ▶ 当社株主帰属四半期純利益は、前年に投資有価証券評価益があり減益。

2023年3月期 通期連結業績予想

売上高
2兆7,000 億円
対前回予想(5/11) (+500億円)

営業利益
2,500 億円
(+50億円)

当社株主帰属
当期純利益
1,950 億円
(+30億円)

- ▶ 「売上高」は、為替前提を見直し、全セグメントで上方修正。
- ▶ 「営業利益」及び「当社株主帰属当期純利益」は、部材・エネルギーコスト高騰等によるマイナス影響を、売上増による増益効果でカバーし、上方修正。
- ▶ 年間配当は、13期連続増配となる120円/株を予定。

4

売上高は6,259億円、営業利益は496億円となりました。

売上高は、メディカルシステムや電子材料の販売が好調だったことに加え、為替による影響もあり、全セグメントで増収となりました。

営業利益は、前年のコロナ関連需要の減少や、想定以上の部材・エネルギーコストの高騰、中国ロックダウン影響などにより減益となりました。

当社株主帰属四半期純利益は、前年に出資会社上場による投資有価証券の評価益を計上したことなどにより、減益となりました。

2023年3月期の通期連結業績予想は、第2四半期以降の為替前提を見直し、売上高は、前回予想から500億円増の2兆7,000億円とします。営業利益については、部材・エネルギーコストの高騰の継続を見込みますが、第1四半期に受けた中国ロックダウン影響を通期でカバーし、更に、売上増による増益効果を加え、前回予想から50億円増の2,500億円、当社株主帰属当期純利益は30億円増の1,950億円に上方修正します。世界経済の先行き不透明感が増している中ではありますが、目標達成に向けて、グループ全体で取り組んでいきます。

2023年3月期の年間配当予想は、前回お伝えしました通り、13期連続増配となる120円です。

2023年3月期 第1四半期 決算トピックス

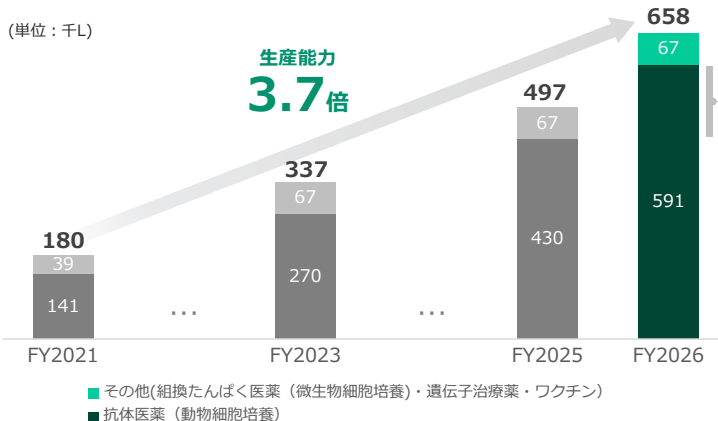
FUJIFILM

バイオCDMO

欧米拠点に新たに総額約2,000億円の大規模投資を決定。バイオ医薬品の開発・製造受託事業の成長を一段と加速させ、2030年度：5,000億円の売上高を目指す。

- 2万L 培養槽 現状 **6基** → FY2026 **28基** へ増設
- 生産能力(培養タンク容量) 現状 **18万L** → FY2026 **66万L** へ増加

(単位：千L)



総額2,000億円の設備投資内容

■ デンマーク拠点：

- 新棟の建設
- 2万L動物細胞培養タンク(8基)
- 精製設備などの導入

■ 米国拠点 (テキサス州)：

- 連続生産システムによる GMP 製造が可能な設備(英国拠点に続く2拠点目の導入)

5

次に第1四半期のトピックスをお話します。

まず、6月30日に発表しました、バイオCDMOでの新たな大規模設備投資についてです。

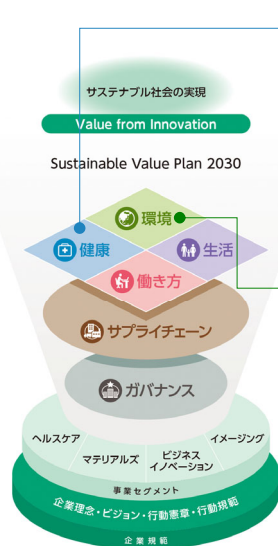
バイオ医薬品の開発・製造受託事業の成長を一段と加速させるため、バイオCDMOの欧米拠点に、総額約2,000億円の大規模投資を行うことを決定しました。

現在増強中の生産能力を上回る、抗体医薬品の旺盛な製造受託ニーズを受け、デンマーク拠点に、2万リットル培養タンク8基をさらに追加導入する大型設備投資を行います。本投資により、2026年までに、2万リットルのタンク保有数を、デンマーク拠点で20基、全世界で合計28基に拡大させます。

また、今回、英国拠点に続き、米国テキサス拠点に連続生産システムによるGMP製造が可能な設備を導入します。新薬開発を行う顧客との協働のみならず、規制当局との連携で早期商用化を目指し、連続生産システムを用いた製造受託のグローバルな市場形成を図ります。

本投資により、全社の培養タンク容量の合計は、現在の約18万リットルから3.7倍の約66万リットルとなる予定です。

当社は、幅広いバイオ医薬品を対象に生産プロセスの開発受託、小規模生産から大規模生産、原薬から製剤・包装までの製造受託ニーズに応えていきます。また、バッチ生産方式のみならず、連続生産方式による製造受託を通じて製薬企業などに新たな価値を提供し、医薬品業界におけるベストパートナーとなり、2030年度に5,000億円の売上高を目指します。



健康 (Health)

インドにがん検診を中心とした健診センター「NURA」2拠点を新たに開設

- 2021年2月 本年7月 本年9月
- ▶ ベンガルールに、グルグラム、ムンバイを加え、計3拠点。
- ▶ 画像診断支援 AI 技術を活用し、がん・生活習慣病の早期発見に貢献*。
- ▶ 中東アフリカ、東南アジアなどを含め、新興国で100拠点設立を目指す。

* 経済産業省が推進する「インド太平洋地域サプライチェーン強靱化事業」に採択されている本事業において、ブロックチェーン技術を用いたデータ連携基盤を構築し、「NURA」3拠点で得られた健診データを、AI 技術を用いて分析し受診者へのフィードバックなどに活用する仕組みを実証していく。

環境 (Environment)

バイオCDMOデンマーク拠点でカーボンニュートラルに向けた取り組み

FUJIFILM Diosynth Biotechnologies Denmark ApS

- ▶ 電気ボイラーの導入。
 - ▶ 再生可能エネルギー由来の電力を採用。
- 2030年までにデンマーク拠点でのカーボンニュートラルの実現

中国の複合機リサイクル拠点でカーボンニュートラルを実現

富士フイルムエコマニュファクチャリング (蘇州)

- ▶ 拠点内に太陽光パネル(約8,000㎡)を設置。→ 使用電力の90%をカバー。
- ▶ 再生可能エネルギー証書*が適用された電力を購入。

* 再生可能エネルギーによって発電された電気の「環境価値」を証書化したもの。

次にサステナビリティへの取り組みを紹介します。

当社は、事業を通じた社会課題の解決を経営の根幹に据え、2030年度をターゲットとして長期的に目指す姿を示したCSR計画「Sustainable Value Plan 2030」で、4つの重点分野を掲げています。その中で「健康」と「環境」における取り組みについてお話しします。

まず「健康」については、

インドでがん検診を中心とした健診センター「NURA」2拠点を新設します。当社は、2021年2月にベンガルールに「NURA」を開設して以来、3,500名以上に対し健診サービスを提供してきました。インドをはじめ新興国では、予防・早期発見のために健診するという意識が定着していない国が多く、健診の制度や施設の整備も不十分です。今回発表した新拠点2カ所を加えた計3拠点で、今後5年間で、10万人に健診サービスを提供していきます。さらに、中東アフリカ、東南アジアなどを含め、「NURA」の拠点拡充を図り、新興国で100拠点設立を目指します。

次に「環境」については、

まず、前のスライドでお話したバイオCDMOのデンマーク拠点での増強設備に、電気ボイラーを導入する予定です。さらに、電気ボイラーの動力源に、再生可能エネルギー由来の電力を採用していきます。これらの取り組みにより、デンマーク拠点では、当社の「2040年度までにCO2排出量実質ゼロ」の脱炭素目標に先駆け、2030年度までにカーボンニュートラルの実現を目指します。

また、中国蘇州の使用済み複合機などを再資源化するリサイクル拠点で、拠点内に約8,000平方メートルの太陽光発電パネルを新たに設置するとともに、再生可能エネルギー由来の電力を購入し、使用電力のすべてを再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることで、カーボンニュートラルを実現します。

2023年3月期 第1四半期

連結業績及び事業概況

2023年3月期 第1四半期 業績(2022年4月~6月)

FUJIFILM

(単位：億円)

| | 1Q | | | | |
|-------------------|-----------------|-------------------------------|----------------|------|----------------|
| | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 対前年度 | 為替影響 | 為替影響 除く |
| 売上高 | 5,827 100.0% | 6,259 100.0% | 432 +7.4% | 433 | -1 -0.0% |
| 営業利益 | 563 9.7% | 496 7.9% | -67 -12.0% | 92 | -159 -28.4% |
| 税金等調整前四半期純利益 | 778 13.3% | 552 8.8% | -226 -29.0% | 130 | -356 -45.8% |
| 当社株主帰属四半期純利益 | 573 9.8% | 414 6.6% | -159 -27.8% | 90 | -249 -43.6% |
| 1株当たり当社株主帰属四半期純利益 | 143.34円 | 103.21円 | -40.13円 | | |
| 為替 | | | | | |
| : 米ドル | 109円 | 130円 | 21円安 | | |
| : ユーロ | 132円 | 138円 | 6円安 | | |

<その他増減要因(対前年度)>
 営業利益における
 原材料価格影響: ▲62億円
 (半導体等の部材価格は含まず)

8

2023年3月期 第1四半期の業績は、
 売上高は、メディカルシステムや電子材料の販売が好調であることと、為替の円安影響により、
 全セグメントで増収となり、前年比7.4%増の6,259億円、
 営業利益は、前年のコロナ関連需要の減少や、部材・エネルギーコストの高騰、中国ロックダ
 ウン影響等により、前年比12%減の496億円となりました。
 当社株主帰属四半期純利益は、前年に出資会社上場による投資有価証券の評価益計上などがあ
 り、前年比27.8%減の414億円となりました。

セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

| 売上高 | 1Q | | 対前年度 | | | |
|-------------|--------------|--------------|------|--------|--------|-------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | | | 為替影響除く | |
| ヘルスケア | 1,742 | 1,802 | 60 | +3.5% | -86 | -4.9% |
| マテリアルズ | 1,498 | 1,750 | 252 | +16.8% | 116 | +7.7% |
| ビジネスイノベーション | 1,861 | 1,882 | 21 | +1.2% | -52 | -2.8% |
| イメージング | 726 | 825 | 99 | +13.6% | 21 | +2.8% |
| 合計 | 5,827 | 6,259 | 432 | +7.4% | -1 | -0.0% |

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

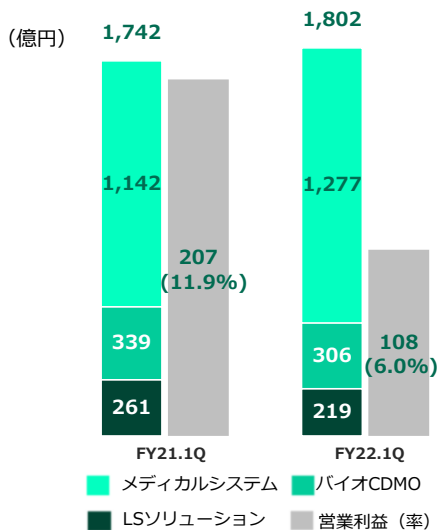
| 営業利益 | 1Q | | 対前年度 | | | |
|-------------|--------------|--------------|------|--------|--------|--------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | | | 為替影響除く | |
| ヘルスケア | 207 | 108 | -99 | -47.7% | -137 | -66.0% |
| マテリアルズ | 213 | 228 | 15 | +7.3% | -33 | -15.1% |
| ビジネスイノベーション | 140 | 142 | 2 | +1.3% | 22 | +15.7% |
| イメージング | 80 | 105 | 25 | +31.8% | -3 | -3.6% |
| 全社/連結調整 | -77 | -87 | -10 | - | -8 | - |
| 合計 | 563 | 496 | -67 | -12.0% | -159 | -28.4% |

続いて、セグメント別の業績については、売上・利益はご覧の通りです。

セグメント別概況：ヘルスケア

FUJIFILM

メディカルシステムは販売好調で増収、バイオCDMO及びLSソリューションは前年のコロナ関連需要の一巡により減収となり、売上高対前年+3.5%、営業利益対前年-47.7%と増収・減益で着地。



メディカルシステム 売上高 1,277億円 (対前年+11.9%)

- 医療IT、超音波、内視鏡などの販売が好調に推移し、増収。
- CT・MRIは、半導体等部品不足の影響を受けたが、全身用X線CT診断装置「Supria」の販売が好調で、増収を確保。

バイオCDMO 売上高 306億円 (対前年-9.5%)

- バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移するも、前年に米国拠点でCOVID-19ワクチン候補原薬の製造に係る収入があったことにより、減収。
- 米国ボストン拠点で遺伝子治療薬のプロセス開発の受託サービスを開始。本年4月の事業買収※と、ビジネスを本格化した細胞治療薬の開発・製造受託サービスとともに、最先端治療分野の顧客ニーズに応え、バイオCDMOの成長を加速。
※米国バイオベンチャーAtara Biotherapeutics, Inc.社の細胞治療薬製造拠点を買収

LSソリューション 売上高 219億円 (対前年-16.5%)

- ライフサイエンスは、バイオ医薬品製造用培地のコロナ関連特需の一巡による減収を、試薬と細胞の増収でカバーし、前年並みの売上を確保。
- 医薬品が、2022年3月に完了した放射性医薬品事業の譲渡により、減収。
※LSソリューション：ライフサイエンス事業（細胞・培地・試薬）、医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業（化粧品・サプリメント）から構成される開示セグメント

10

ヘルスケアの業績の概要を説明します。

売上高は、メディカルシステムは販売好調で増収の一方で、バイオCDMO及びLSソリューションは前年のコロナ関連需要が一巡したことにより減収となり、前年比3.5%増の1,802億円、

営業利益は、LSソリューションの減収に加えて、バイオCDMOにおいて、前年にコロナワクチン製造に関わる助成金収入があったことや、ワクチン原薬製造の未稼働補償が第2四半期以降に精算となることなどにより減少し、前年比47.7%減の108億円となりました。

メディカルシステムは、医療IT、超音波、内視鏡などの販売が好調に推移し、売上が増加しました。また、CT・MRIは、半導体等部品不足の影響を受けましたが、全身用X線CT診断装置「Supria」の販売が好調で、増収を確保しました。

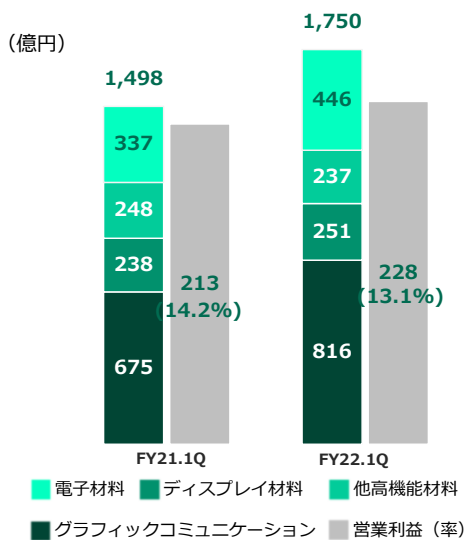
バイオCDMOは、バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移しましたが、前年に米国拠点でコロナワクチン候補原薬の製造に対する収入があったことにより、減収となりました。米国テキサス、英国に続く、第3の遺伝子治療薬CDMO拠点として米国ボストン拠点を新設し、プロセス開発の受託サービスを開始しました。遺伝子治療薬と並ぶ最先端医療である細胞治療薬の分野でも、本年4月に米国バイオベンチャーAtara社の製造拠点を買収し、最先端治療分野の顧客ニーズに応え、バイオCDMO事業の成長を加速させます。

LSソリューションでは、ライフサイエンスが、バイオ医薬品製造用培地のコロナ関連特需の一巡による減収を、試薬と細胞の増収でカバーし、前年並みの売上を確保した一方で、医薬品の、2022年3月に完了した放射性医薬品事業売却による減収が影響し、全体では減収となりました。

セグメント別概況：マテリアルズ

FUJIFILM

旺盛な半導体需要を背景とした電子材料の成長と、各事業のコロナ影響からの着実な回復により、売上高対前年+16.8%、営業利益対前年+7.3%と増収・増益で着地。



- 電子材料** 売上高 446億円 (対前年+32.4%)
 - 半導体需要の増加に伴い、CMPスラリー、ポリイミド、フォトリソ周辺材料など幅広い製品群で販売が好調に推移し、増収。
- ディスプレイ材料** 売上高 237億円 (対前年-4.4%)
 - TV向けの製品は順調に販売を伸ばすも、WVフィルムの需要減の影響を受け、減収。
- 他高機能材料** 売上高 251億円 (対前年+5.5%)
 - ファインケミカルでの、製薬会社向けの医薬品原料や、欧米向けの重合材料の販売が堅調などにより、増収。
- グラフィックコミュニケーション** 売上高 816億円 (対前年+20.8%)
 - グラフィックコミュニケーションでは、刷版材料のコロナ影響からの回復に加え、原材料価格高騰に伴う各地域での販売価格の見直し実施、デジタル印刷分野でも、市場の回復傾向が継続し、増収。
 - インクジェットでは、産業用インクジェットヘッドの販売が、主に欧州の建材印刷市場での需要増により好調に推移したことに加え、ホーム&オフィス市場向け染料インクが販売を伸ばし、増収。

※他高機能材料：産業機材事業、ファインケミカル事業、記録メディア事業から構成される開示セグメント 11

マテリアルズの業績の概要について説明します。

旺盛な半導体需要を背景とした電子材料の成長と、各事業のコロナ影響からの着実な回復により、売上高は、前年比16.8%増の1,750億円、営業利益は、前年比7.3%増の228億円となりました。

電子材料は、半導体需要の増加に伴い、CMPスラリー、ポリイミド、フォトリソ周辺材料など幅広い製品群で販売が好調に推移し、売上が増加しました。

ディスプレイ材料は、TV向けの製品は順調に販売を伸ばしましたが、WVフィルムの需要減の影響を受け、売上が減少しました。

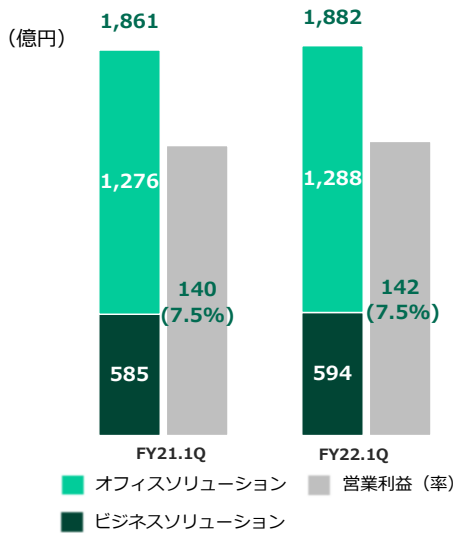
グラフィックコミュニケーションは、刷版材料のコロナ影響からの回復に加え、原材料価格の高騰に伴い各地域で販売価格を見直し、また、デジタル印刷分野でも、市場の回復傾向が継続し、売上が増加しました。

インクジェットでは、産業用インクジェットヘッドの販売が、主に欧州の建材印刷市場での需要増により好調に推移したことに加え、ホーム&オフィス市場向け染料インクが販売を伸ばし、売上が増加しました。

セグメント別概況：ビジネスイノベーション FUJIFILM

中国ロックダウンの影響を受けるも、消耗品の輸出売上の増加や海外でのBPO※事業の売上増加などにより、売上高は対前年+1.2%、営業利益は対前年+1.3%と増収・増益で着地。

※ビジネスプロセスアウトソーシング



■ オフィスソリューション 売上高 1,288億円 (対前年+1.1%)

- 中国ロックダウンの影響を受けるも、消耗品の輸出売上の増加や為替影響等により、増収。
- 2022年7月1日付で、研究開発を含む複合機及びプリンターの全体戦略立案・推進機能を担う新たな組織として、デバイステクノロジー(DT)事業本部を設立。市場ニーズに即した競争力のあるデバイスを迅速に開発し、OEM供給を含むグローバル展開を促進。

■ ビジネスソリューション 売上高 594億円 (対前年+1.4%)

- 海外でのBPO事業の売上増加や為替影響等により、増収。
- 2022年5月に、業種別・業務別にお客様のDX課題解決を強力に支援し、中堅・中小企業のDXを加速する新ソリューション「Bridge DX Library」の提供を開始。2022年7月には、合計103種類のソリューションにラインアップを拡大。
- 2022年7月1日付で、ソリューション・サービス事業およびBPO事業の全体戦略立案・推進機能を統合したビジネスソリューションサービス(BSS)事業本部を設立。

12

ビジネスイノベーションの業績の概要について説明します。

中国ロックダウンの影響を受けましたが、消耗品の輸出売上の増加や海外でのBPO事業の売上増加などにより、売上高は、前年比1.2%増の1,882億円、営業利益は、前年比1.3%増の142億円となりました。

オフィスソリューションでは、中国ロックダウンの影響を受けましたが、消耗品の輸出売上の増加や為替影響などにより、売上が増加しました。また、2022年7月1日付で、研究開発を含む複合機及びプリンターの全体戦略立案や推進機能を担う新たな組織として、デバイステクノロジー事業本部を設立しました。市場ニーズに即した競争力のあるデバイスを迅速に開発し、OEM供給を含むグローバル展開を促進します。

ビジネスソリューションは、海外でのBPO事業の売上増加や為替影響などにより、売上が増加しました。

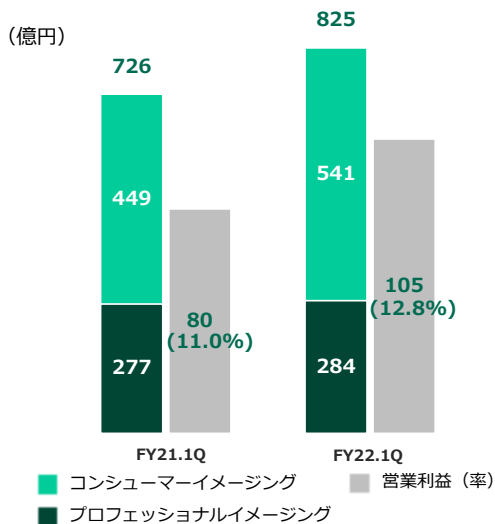
2022年5月に、業種別・業務別にお客様のDX課題解決を強力に支援し、中堅・中小企業のDXを加速する新ソリューション「Bridge DX Library」の提供を開始し、更に2022年7月には、合計103種類のソリューションにラインアップを拡大しました。

また、2022年7月1日付で、ソリューション・サービス事業およびBPO事業の全体戦略立案・推進機能を統合したビジネスソリューションサービス事業本部を設立しました。

今後も、お客様のDXに資するソリューション・サービスメニューを提供し、さらに海外展開を加速させ、当セグメントの中核事業としてビジネスソリューションを成長させます。

セグメント別概況：イメージング

デジタルカメラは中国ロックダウン影響を受けるも、インスタントフォトシステムやカラー印画紙の販売が好調に推移し、売上高対前年+13.6%、営業利益対前年+31.8%と増収・増益で着地。



消費者イメージング 売上高 541億円 (対前年+20.4%)

- ・ インスタントフォトシステムや、カラー印画紙、ドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、増収。
- ・ 2022年7月にスマートフォン用プリンター「instax mini Link2」を発売、AR(拡張現実)技術を活用した空間描画機能「instaxAiR」など、新たな機能を搭載し市場から高い評価を獲得。
- ・ インスタントフォトシステム用フィルムの需要拡大に対応すべく、神奈川事業場に約20億円を投じて生産ラインを増設することを決定。今秋に稼働予定。

プロフェッショナルイメージング 売上高 284億円 (対前年+2.5%)

- ・ デジタルカメラは中国ロックダウンによる影響を受けたが、放送カメラ用レンズの販売がコロナ影響から回復し、増収。
- ・ 2022年7月に、高画質と小型軽量を両立する「Xシリーズ」史上、最高的高速連写、AF・動画性能を実現したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-H2S」を発売。
- ・ レンズ一体型の遠望監視カメラ「SX800」に全天候型旋回台と専用の映像管理ソフトウェアを合わせた一つのパッケージ「SXシステム」として、本年6月からサービス展開を本格化。

イメージングの業績の概要について説明します。

デジタルカメラは中国ロックダウン影響を受けましたが、インスタントフォトシステムやカラー印画紙の販売が好調に推移し、売上高は、前年比13.6%増の825億円、営業利益は、前年比31.8%増の105億円となりました。

消費者イメージングでは、インスタントフォトシステムや、カラー印画紙、ドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、売上が増加しました。インスタントフォトシステムは、2022年7月にスマートフォン用プリンター「instax mini Link2」を発売、AR(拡張現実)技術を活用した空間描画機能「instaxAiR」など、新たな機能を搭載し市場から高い評価を受けています。また、カメラとプリンターの需要増を背景に、インスタントフォトシステム用フィルムの出荷量が増加しており、今回、神奈川事業場に約20億円を投じて生産ラインを増設することを決定しました。本年の秋に稼働の予定で、フィルムの生産能力が2割向上する見通しです。

プロフェッショナルイメージングでは、デジタルカメラが中国ロックダウンによる影響を受けましたが、放送カメラ用レンズの販売がコロナ影響から回復し、売上が増加しました。2022年7月に、高画質と小型軽量を両立する「Xシリーズ」史上、最高的高速連写、AF(オートフォーカス)・動画性能を実現したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-H2S」を発売しました。

連結貸借対照表

FUJIFILM

(単位：億円)

| | 21年 3月期末 | 22年 3月期末 | 23年3月期 6月末 | 対22年 3月期末 | | 21年 3月期末 | 22年 3月期末 | 23年3月期 6月末 | 対22年 3月期末 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 現金及び現金同等物 | 3,948 | 4,863 | 5,381 | 518 | 長短社債及び借入金 | 5,030 | 4,472 | 5,707 | 1,235 |
| 受取債権 | 6,057 | 5,986 | 6,026 | 40 | 支払債務 | 2,399 | 3,032 | 3,088 | 56 |
| 棚卸資産 | 4,177 | 5,045 | 5,911 | 866 | その他流動・固定負債 | 5,841 | 6,800 | 6,868 | 68 |
| その他流動資産 | 892 | 1,353 | 1,609 | 256 | 負債計 | 13,270 | 14,304 | 15,663 | 1,359 |
| 流動資産計 | 15,074 | 17,247 | 18,927 | 1,680 | 株主資本計 | 22,046 | 25,027 | 26,565 | 1,538 |
| 有形固定資産 | 6,353 | 7,368 | 8,044 | 676 | 非支配持分 | 176 | 222 | 240 | 18 |
| 営業権 | 8,042 | 8,240 | 8,617 | 377 | 純資産計 | 22,222 | 25,249 | 26,805 | 1,556 |
| その他固定資産 | 6,023 | 6,698 | 6,880 | 182 | 負債・純資産合計 | 35,492 | 39,553 | 42,468 | 2,915 |
| 固定資産計 | 20,418 | 22,306 | 23,541 | 1,235 | (単位：円) | | | | |
| 資産合計 | 35,492 | 39,553 | 42,468 | 2,915 | 期末日 為替レート | 21年 3月期末 | 22年 3月期末 | 23年3月期 6月末 | 対22年 3月期末 |
| | | | | | 米ドル | 111 | 122 | 137 | 15円安 |
| | | | | | ユーロ | 130 | 137 | 143 | 6円安 |

14

バランスシートについて説明します。

2023年3月期6月末時点の資産合計は、現金及び現金同等物や棚卸資産の増加などにより、2022年3月期末時点と比べ、2,915億円増の4兆2,468億円となりました。

負債は、ソーシャルボンドを発行したことなどにより、1,359億円増の1兆5,663億円となりました。

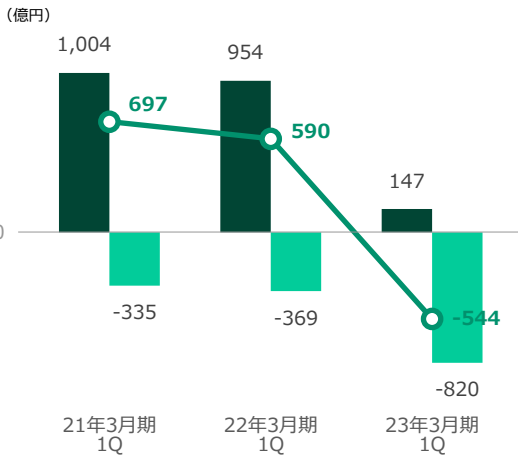
株主資本は1,538億円増の2兆6,565億円となりました。

連結キャッシュ・フロー

FUJIFILM

(単位：億円)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- 事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー



| | 21年3月期 1Q | 22年3月期 1Q | 23年3月期 1Q |
|---------------------------|--------------|--------------|--------------|
| 当期純利益 | 277 | 583 | 414 |
| 減価償却費 | 299 | 313 | 351 |
| 受取債権の増(-)減(+) | 979 | 721 | 233 |
| 棚卸資産の増(-)減(+) | -455 | -396 | -625 |
| 営業債務の増(+)減(-) | -166 | 51 | -51 |
| その他 | 70 | -318 | -175 |
| 営業活動によるCF | 1,004 | 954 | 147 |
| 設備投資 | -230 | -275 | -520 |
| ソフトウェアの購入 | -38 | -70 | -113 |
| 投資有価証券の売却・購入等 | -28 | -5 | 19 |
| 事業買収 | 0 | 0 | -148 |
| その他 | -39 | -19 | -58 |
| 投資活動によるCF | -335 | -369 | -820 |
| フリー・キャッシュ・フロー(FCF) | 669 | 585 | -673 |
| 事業買収等を除くFCF※ | 697 | 590 | -544 |

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収、及び投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

15

キャッシュ・フローについて説明します。

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、部材の需給逼迫に備えるために一時的に在庫を積み増していること、また、売上高が前年より増加し受取債権が増えたことから、147億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、バイオCDMOを中心とする設備投資などにより820億円の支出となりました。

この結果、事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フローは、544億円の支出となりました。

2023年3月期の通期では、在庫として積み増した部材を活用して商品の払い出しを進め、計画通り営業活動によるキャッシュ・フローで2,900億円の収入を見込みます。また、設備投資やソフトウェアの購入に4,100億円の支出を計画します。

今年度の利益目標を達成するとともに、CCC向上を推進してキャッシュを創出し、計画通り成長投資を行っていきます。

2023年3月期第1四半期決算の説明は以上です。

2023年3月期 連結業績予想

2023年3月期 通期連結業績予想 (2022年8月10日時点) FUJIFILM

(単位：億円)

| | 2022年3月期 | 2023年3月期 前回予想 (2022/5/11公表値) | 2023年3月期 今回予想 (2022/8/10公表値) | 対前年度 | 対前回予想 |
|----------------------------------|----------------|------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------|--------------|
| 売上高 | 25,258 100% | 26,500 100% | 27,000 100% | 1,742 +6.9% | 500 +1.9% |
| 営業利益 | 2,297 9.1% | 2,450 9.2% | 過去 最高 2,500 9.3% | 203 +8.8% | 50 +2.0% |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,604 10.3% | 2,550 9.6% | 2,600 9.6% | -4 -0.2% | 50 +2.0% |
| 当社株主帰属当期純利益 | 2,112 8.4% | 1,920 7.2% | 1,950 7.2% | -162 -7.7% | 30 +1.6% |
| 1株当たり当社株主帰属当期純利益 ^(※1) | 527.33円 | 479.05円 | 486.53円 | -40.80円 | +7.48円 |
| ROE | 9.0% | 7.6% | 7.6% | -1.4% | - |
| ROIC | 5.6% | 5.7% | 5.7% | +0.1% | - |
| CCC | 122日 | 114日 | 114日 | -8日 | - |
| 為替 ^(※2) : 米ドル | 113円 | 120円 | 126円 | 13円安 | 6円安 |
| : ユーロ | 131円 | 132円 | 134円 | 3円安 | 2円安 |
| 銀価格 (/kg) | 89,000円 | 95,000円 | 97,000円 | +8,000円 | +2,000円 |

※1 1株当たり当社株主帰属当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2022年6月30日現在の発行株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

※2 2023年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：3億円/年、ユーロ：8億円/年

17

2023年3月期の業績予想は、冒頭でお伝えしました通り、第2四半期以降の為替前提を見直し、売上高は、前回予想から500億円増の2兆7,000億円とします。

営業利益は、部材・エネルギーコストの高騰影響を織り込みますが、第1四半期に受けた中国ロックダウン影響を通期でカバーし、売上増による増益効果を加え、前回予想から50億円増の2,500億円に、当社株主帰属当期純利益は、30億円増の1,950億円に上方修正します。

セグメント別業績予想 (2022年8月10日時点)

(単位：億円)

| 売上高 | 2022年3月期 | 2023年3月期 前回予想 (2022/5/11公表値) | 2023年3月期 今回予想 (2022/8/10公表値) | 対前回予想 | |
|-------------|----------|------------------------------------|------------------------------------|-------|--------|
| | | | | | 内、為替影響 |
| ヘルスケア | 8,017 | 8,500 | 8,600 | 100 | 175 |
| マテリアルズ | 6,272 | 6,700 | 6,800 | 100 | 140 |
| ビジネスイノベーション | 7,635 | 7,900 | 8,000 | 100 | 65 |
| イメージング | 3,334 | 3,400 | 3,600 | 200 | 100 |
| 合計 | 25,258 | 26,500 | 27,000 | 500 | 480 |

(単位：億円)

| 営業利益 | 2022年3月期 | 2023年3月期 前回予想 (2022/5/11公表値) | 2023年3月期 今回予想 (2022/8/10公表値) | 対前回予想 | |
|-------------|----------|------------------------------------|------------------------------------|-------|--------|
| | | | | | 内、為替影響 |
| ヘルスケア | 1,005 | 1,100 | 1,120 | 20 | 50 |
| マテリアルズ | 684 | 710 | 720 | 10 | 35 |
| ビジネスイノベーション | 579 | 700 | 670 | -30 | -30 |
| イメージング | 370 | 370 | 420 | 50 | 25 |
| 全社/連結調整 | -341 | -430 | -430 | - | - |
| 合計 | 2,297 | 2,450 | 2,500 | 50 | 80 |

18

セグメント別業績予想はご覧の通りです。

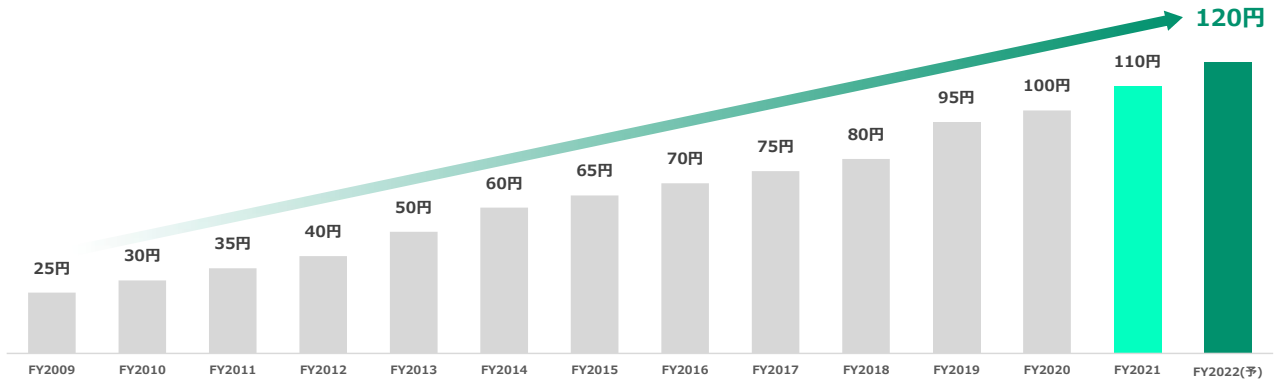
売上高は、全セグメントを上方修正します。

営業利益は、為替のドル高がマイナスに影響するビジネスイノベーションを下方修正し、ヘルスケア、マテリアルズ、イメージングをそれぞれ上方修正します。

株主還元

配当金

➤ 2023年3月期の年間配当金は、13期連続増配となる120円/株を予定



自己株式取得

➤ キャッシュフローを勘案し、株価の推移に応じて機動的に実施

年間配当予想は、冒頭に後藤からお伝えしました通り、13期連続増配となる120円です。

2023年3月期 第1四半期
参考資料

1Q業績：ヘルスケア

FUJIFILM

(単位：億円)

| 売上高 | 1Q | | | | | |
|-----------|--------------|--------------|------|--------|--------|--------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| メディカルシステム | 1,142 | 1,277 | 135 | +11.9% | 41 | +3.7% |
| バイオCDMO | 339 | 306 | -33 | -9.5% | -73 | -21.3% |
| LSソリューション | 261 | 219 | -42 | -16.5% | -54 | -21.1% |
| 合計 | 1,742 | 1,802 | 60 | +3.5% | -86 | -4.9% |

*セグメント間取引消去後

| 営業利益 [営業利益率] | 1Q | | | | | |
|-----------------|----------------|---------------|------|--------|--------|--------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| ヘルスケア | 207 [11.9%] | 108 [6.0%] | -99 | -47.7% | -137 | -66.0% |

1Q業績：マテリアルズ

FUJIFILM

(単位：億円)

| 売上高 | 1Q | | | | | |
|-----------------|--------------|--------------|------|--------|--------|--------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| 電子材料 | 337 | 446 | 109 | +32.4% | 53 | +15.7% |
| ディスプレイ材料 | 248 | 237 | -11 | -4.4% | -12 | -4.8% |
| 他高機能材料 | 238 | 251 | 13 | +5.5% | -9 | -3.3% |
| グラフィックコミュニケーション | 675 | 816 | 141 | +20.8% | 84 | +12.2% |
| 合計 | 1,498 | 1,750 | 252 | +16.8% | 116 | +7.7% |

*セグメント間取引消去後

| 営業利益 [営業利益率] | 1Q | | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|------|-------|--------|--------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| マテリアルズ | 213 [14.2%] | 228 [13.1%] | 15 | +7.3% | -33 | -15.1% |

1Q業績：ビジネスイノベーション

FUJIFILM

(単位：億円)

| 売上高 | 1Q | | | | | |
|-------------|--------------|--------------|------|-------|--------|-------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| オフィスソリューション | 1,276 | 1,288 | 12 | +1.1% | -40 | -3.0% |
| ビジネスソリューション | 585 | 594 | 9 | +1.4% | -12 | -2.2% |
| 合計 | 1,861 | 1,882 | 21 | +1.2% | -52 | -2.8% |

*セグメント間取引消去後

| 営業利益 [営業利益率] | 1Q | | | | | |
|-----------------|---------------|----------------------|------|-------|--------|--------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| ビジネスイノベーション | 140 [7.5%] | 142 [7.5%] | 2 | +1.3% | 22 | +15.7% |

1Q業績：イメージング

FUJIFILM

(単位：億円)

| 売上高 | 1Q | | | | | |
|-----------------|--------------|--------------|------|--------|--------|-------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| コンシューマーイメージング | 449 | 541 | 92 | +20.4% | 36 | +7.8% |
| プロフェッショナルイメージング | 277 | 284 | 7 | +2.5% | -15 | -5.3% |
| 合計 | 726 | 825 | 99 | +13.6% | 21 | +2.8% |

*セグメント間取引消去後

| 営業利益 [営業利益率] | 1Q | | | | | |
|-----------------|---------------|----------------|------|--------|--------|-------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 対前年度 | | 為替影響除く | |
| イメージング | 80 [11.0%] | 105 [12.8%] | 25 | +31.8% | -3 | -3.6% |

営業利益増減分析（1Q実績 対前年）

FUJIFILM

(単位：億円)

| | 1Q | | 対前年度 | | 為替 | 原材料価格 | 一時費用 | 中国 ロックダウン | オペレー ション等 ^{※1} |
|-------------|--------------|--------------|------|--------|-------|--------|------|--------------|----------------------------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | | | | | | | |
| ヘルスケア | 207 | 108 | -99 | -47.7% | 38 | -4 | -13 | -11 | -109 |
| マテリアルズ | 213 | 228 | 15 | +7.3% | 48 | -52 | -4 | -6 | 29 |
| ビジネスイノベーション | 140 | 142 | 2 | +1.3% | -20 | - | 31 | -8 | -1 |
| イメージング | 80 | 105 | 25 | +31.8% | 28 | -6 | -10 | -15 | 28 |
| 全社/連結調整 | -77 | -87 | -10 | - | -2 | - | - | - | -8 |
| 合計 | 563 | 496 | -67 | -12.0% | ※2 92 | ※3 -62 | ※4 4 | -40 | -61 |

※1 半導体需給逼迫に伴う部材価格及び物流コストの高騰影響も含む

※2：為替レート

| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 |
|-----|--------------|--------------|
| 米ドル | 109円 | 130円 |
| ユーロ | 132円 | 138円 |

※3：原材料別(半導体影響は除く)

| | 1Q |
|--------|-----|
| 銀 | -1 |
| アルミ | -34 |
| 他(燃料等) | -27 |
| 合計 | -62 |

※4：一時費用明細

| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 差異 |
|--------------|--------------|--------------|------------|
| ヘルスケア | - | 13 | -13 |
| 新規興収会社(CDMO) | - | 11 | -11 |
| その他 | - | 2 | -2 |
| マテリアルズ | - | 4 | -4 |
| グラフィック等 | - | 4 | -4 |
| ビジネスイノベーション | 43 | 12 | 31 |
| 体質強化費 | 16 | 5 | 11 |
| 新ブランド移行費用 | 27 | 7 | 20 |
| イメージング | - | 10 | -10 |
| 体質強化費用等 | - | 10 | -10 |
| 全社 | - | - | - |
| 合計 | 43 | 39 | 4 |

25

2023年3月期 通期連結業績予想 (2022年8月10日時点)

FUJIFILM

事業別売上高

(単位:億円)

| | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期 前回予想(5/11) | 2023年3月期 今回予想(8/10) | 対前年度 | | 対前回予想 | |
|--------------------|----------------|------------------------|------------------------|--------------|--------------|------------|--------------|
| ヘルスケア | 8,017 | 8,500 | 8,600 | 583 | +7.3% | 100 | +1.2% |
| メディカルシステム | 5,338 | 5,700 | 5,850 | 512 | +9.6% | 150 | +2.6% |
| バイオCDMO | 1,503 | 1,600 | 1,650 | 147 | +9.8% | 50 | +3.1% |
| LSソリューション | 1,176 | 1,200 | 1,100 | -76 | -6.5% | -100 | -8.3% |
| マテリアルズ | 6,272 | 6,700 | 6,800 | 528 | +8.4% | 100 | +1.5% |
| 電子材料 | 1,467 | 1,680 | 1,700 | 233 | +15.9% | 20 | +1.2% |
| ディスプレイ材料 | 947 | 920 | 850 | -97 | -10.2% | -70 | -7.6% |
| 他高機能材料 | 964 | 1,000 | 970 | 6 | +0.6% | -30 | -3.0% |
| グラフィックコミュニケーション | 2,894 | 3,100 | 3,280 | 386 | +13.3% | 180 | +5.8% |
| ビジネスイノベーション | 7,635 | 7,900 | 8,000 | 365 | +4.8% | 100 | +1.3% |
| オフィスソリューション | 5,075 | 5,150 | 5,200 | 125 | +2.5% | 50 | +1.0% |
| ビジネスソリューション | 2,560 | 2,750 | 2,800 | 240 | +9.4% | 50 | +1.8% |
| イメージング | 3,334 | 3,400 | 3,600 | 266 | +8.0% | 200 | +5.9% |
| コンシューマーイメージング | 2,190 | 2,300 | 2,400 | 210 | +9.6% | 100 | +4.3% |
| プロフェッショナルイメージング | 1,144 | 1,100 | 1,200 | 56 | +4.9% | 100 | +9.1% |
| 合計 | 25,258 | 26,500 | 27,000 | 1,742 | +6.9% | 500 | +1.9% |
| 為替 | | | | | | | |
| 米ドル | 113円 | 120円 | 126円 | 13円安 | | 6円安 | |
| ユーロ | 131円 | 132円 | 134円 | 3円安 | | 2円安 | |

営業利益増減分析 (通期業績予想 対前回予想) FUJIFILM

(単位：億円)

| | 2023年3月期(通期) | | 対前回予想 | | 為替 | 原材料価格 | 一時費用 | オペレーション等 ^{※1} |
|-------------|---------------------|---------------------|-------|--------|-------|--------|------|------------------------|
| | 前回予想 (2022/5/11) | 今回予想 (2022/8/10) | | | | | | |
| ヘルスケア | 1,100 | 1,120 | 20 | +1.8% | 50 | -5 | - | -25 |
| マテリアルズ | 710 | 720 | 10 | +1.4% | 35 | -5 | - | -20 |
| ビジネスイノベーション | 700 | 670 | -30 | -4.3% | -30 | - | - | - |
| イメージング | 370 | 420 | 50 | +13.5% | 25 | -5 | - | 30 |
| 全社/連結調整 | -430 | -430 | - | | - | - | - | - |
| 合計 | 2,450 | 2,500 | 50 | +2.0% | ※2 80 | ※3 -15 | ※4 - | -15 |

※1 半導体需給逼迫に伴う部材価格及び物流コストの高騰影響も含む

※2：為替レート

| | 前回予想 (2022/5/11) | 今回予想 (2022/8/10) |
|-----|---------------------|---------------------|
| 米ドル | 120円 | 126円 |
| ユーロ | 132円 | 134円 |

※3：原材料別(半導体影響は除く)

| | 今回予想 |
|--------|------|
| 銀 | -5 |
| アルミ | +5 |
| 他(燃料等) | -15 |
| 合計 | -15 |

※4：一時費用明細

| | 前回予想 (2022/5/11) | | 今回予想 (2022/8/10) | | 差異 |
|--------------|---------------------|-----|---------------------|--|----|
| | | | | | |
| ヘルスケア | 65 | 65 | | | - |
| 新規買収会社(CDMO) | 45 | 45 | | | - |
| その他 | 20 | 20 | | | - |
| マテリアルズ | 25 | 25 | | | - |
| クラフック等 | 25 | 25 | | | - |
| ビジネスイノベーション | 115 | 115 | | | - |
| 体質強化費 | 80 | 80 | | | - |
| 新ブランド移行費用 | 35 | 35 | | | - |
| イメージング | 25 | 25 | | | - |
| 体質強化費用等 | 25 | 25 | | | - |
| 全社 | 5 | 5 | | | - |
| 合計 | 235 | 235 | | | - |

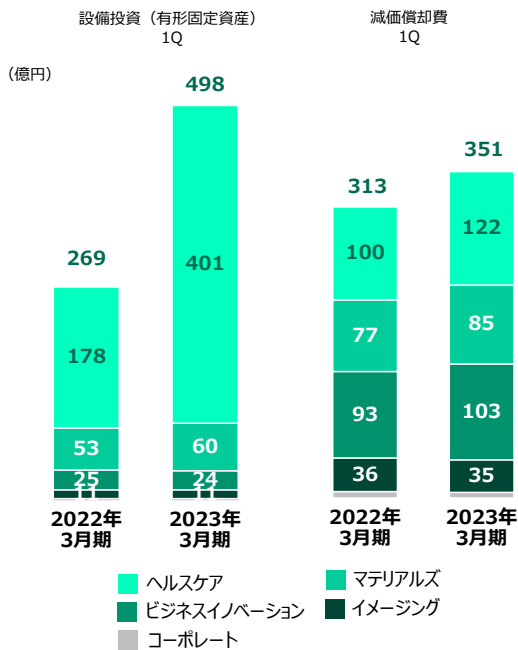
国内・海外別連結売上高

FUJIFILM

(単位：億円)

| | 2022年3月期 1Q | | 2023年3月期 1Q | | 対前年度 | |
|------|-------------|-------|-------------|-------|------|--------|
| | 構成比(%) | | 構成比(%) | | | |
| 日本 | 38.2% | 2,224 | 35.8% | 2,240 | 16 | +0.7% |
| 米州 | 21.1% | 1,229 | 21.4% | 1,337 | 108 | +8.8% |
| 欧州 | 12.5% | 730 | 15.1% | 942 | 212 | +29.0% |
| 内、中国 | 14.2% | 831 | 13.9% | 867 | 36 | +4.4% |
| アジア他 | 28.2% | 1,644 | 27.7% | 1,740 | 96 | +5.8% |
| 海外 | 61.8% | 3,603 | 64.2% | 4,019 | 416 | +11.5% |
| 合計 | 100.0% | 5,827 | 100.0% | 6,259 | 432 | +7.4% |

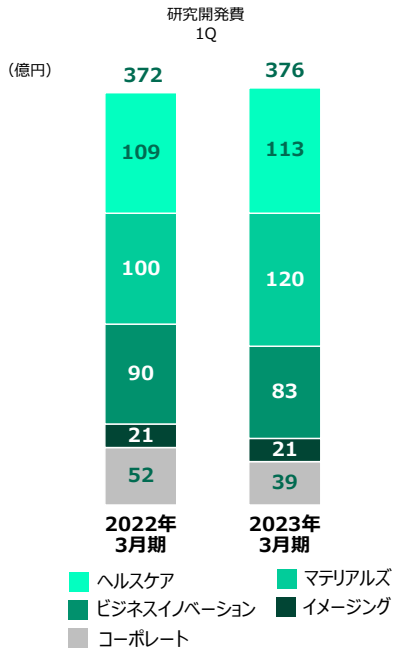
設備投資 | 減価償却費



(単位: 億円)

| 年度 | 1Q | | 通期 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|----------------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 (予想) |
| ヘルスケア | 178 | 401 | 1,039 | 2,600 |
| マテリアルズ | 53 | 60 | 317 | 650 |
| ビジネスイノベーション | 25 | 24 | 121 | 110 |
| イメージング | 11 | 11 | 55 | 110 |
| コーポレート | 2 | 2 | 20 | 30 |
| 設備投資 (有形固定資産) | 269 | 498 | 1,552 | 3,500 |
| ヘルスケア | 28 | 24 | 113 | 150 |
| マテリアルズ | 10 | 16 | 68 | 50 |
| ビジネスイノベーション | 52 | 124 | 314 | 300 |
| イメージング | 12 | 12 | 54 | 50 |
| コーポレート | 7 | 8 | 39 | 50 |
| 設備投資 (ソフト、レンタル資産他) | 109 | 184 | 588 | 600 |
| ヘルスケア | 100 | 122 | 445 | 540 |
| マテリアルズ | 77 | 85 | 324 | 350 |
| ビジネスイノベーション | 93 | 103 | 390 | 440 |
| イメージング | 36 | 35 | 141 | 150 |
| コーポレート | 7 | 6 | 30 | 20 |
| 減価償却費 | 313 | 351 | 1,330 | 1,500 |

研究開発費 | 販売費及び一般管理費



(単位：億円)

| 年度 | 1Q | | 通期 | |
|-------------|-----------|--------------|-----------|----------------|
| | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 | 2022年 3月期 | 2023年 3月期 (予想) |
| ヘルスケア | 109 | 113 | 453 | |
| マテリアルズ | 100 | 120 | 399 | |
| ビジネスイノベーション | 90 | 83 | 332 | |
| イメージング | 21 | 21 | 85 | |
| コーポレート | 52 | 39 | 236 | |
| 研究開発費 | 372 | 376 | 1,505 | 1,620 |
| <売上高比> | 6.4% | 6.0% | 6.0% | 6.0% |
| 販売費及び一般管理費 | 1,592 | 1,672 | 6,530 | |
| <売上高比> | 27.3% | 26.8% | 25.8% | |

為替 | 原材料価格 | 人員

為替

(単位：円)

| | 2022年3月期 | | | | | 2023年3月期 | | |
|-----|----------|-----|-----|-----|-----|----------|----------|--------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 通期 | 1Q | 2-4Q(予想) | 通期(予想) |
| 米ドル | 109 | 111 | 114 | 116 | 113 | 130 | 125 | 126 |
| ユーロ | 132 | 130 | 130 | 130 | 131 | 138 | 132 | 134 |

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

| | 2022年3月期 | | | | | 2023年3月期 | | |
|---|----------|----|----|----|----|----------|----------|--------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 通期 | 1Q | 2-4Q(予想) | 通期(予想) |
| 銀 | 93 | 86 | 86 | 88 | 89 | 95 | 98 | 97 |

人員

(単位：人)

| | 2021.6末 | 2021.9末 | 2021.12末 | 2022.3末 | 2022.6末 |
|----|---------|---------|----------|---------|---------|
| 連結 | 75,879 | 75,007 | 74,842 | 75,474 | 75,341 |

パイプライン (2022年8月10日時点)

| 開発番号 | 薬効・適応症 | 剤形 | 地域 | 開発段階 |
|----------|--------------------------|----|----|--------|
| T-705 | 抗新型コロナウイルス (COVID-19) 薬 | 経口 | 日本 | 承認申請中 |
| | 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬 | | 米国 | Ph II |
| T-817MA | アルツハイマー型認知症治療薬 | 経口 | 日本 | Ph III |
| | | | 米国 | Ph II |
| | 脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬 | | 日本 | Ph II |
| T-4288 | 新規フルオロケトライド系抗菌薬 | 経口 | 日本 | 承認申請中 |
| FF-10501 | 骨髄異形成症候群治療薬 | 経口 | 日本 | Ph I |
| | | | 米国 | Ph II |
| FF-10502 | 進行・再発固形がん治療薬 | 注射 | 米国 | Ph II |
| FF-10832 | 進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリボソーム) | 注射 | 米国 | Ph I |
| FF-10850 | 進行性固形がん治療薬 (トボテカンリボソーム) | 注射 | 米国 | Ph I |

※ FF-10101 : 米国での臨床試験結果を踏まえ、開発を中止した。

- **富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>
- **富士フイルムホールディングス 統合報告書2021**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>
- **IR資料室**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>
- **富士フイルムってどんな会社？**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual.html>
- **グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」**
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/about/brand/story/neverstop>
- **新型コロナウイルス感染症への取り組み**
<https://brand.fujifilm.com/covid19/jp/>

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拓けるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>